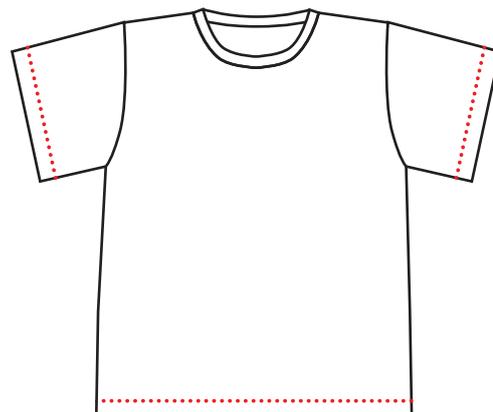


⑨ まつりながら布端の始末 (ニット用裾まつり押えの使い方)

ニット用裾まつり押えを使うとTシャツやカットソーの裾や袖口の始末が縁かがりと同時にできます。

縫い目が表にひびかない仕上がりなので、すっきり仕上がります。

カバーステッチミシンがなくてもこの押えがあれば裾の始末ができます。



使用できる機種 1本針3本糸ロックが縫える全機種

使用する押え ニット用裾まつり押え



ニット用
裾まつり押え

ミシンの設定

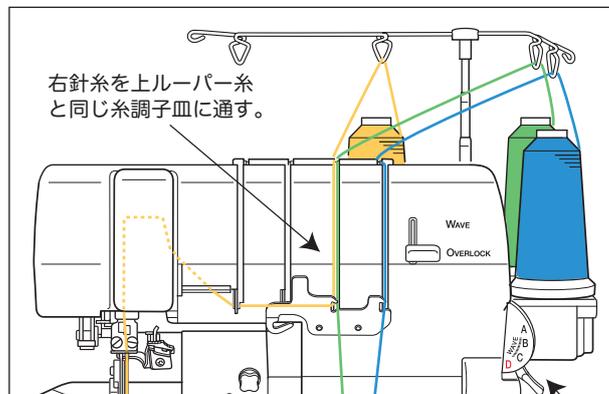
・基本の数値ですので生地に合わせて調節して下さい。

		縫い目切換ダイヤル	かがり幅ダイヤル	送り目ダイヤル	差動レバー
		糸取物語	衣縫人		
4本糸ロック	1本針3本糸	OVER D	右針糸 上ルーパー糸 下ルーパー糸	3.0	3~4
3本糸ロック	1本針3本糸	OVER C	3 4 6		ニット地が伸びない程度

縫い方

1. 裾や袖口を折り上げ、アイロンをかけます。
2. 糸取物語の場合は右の図を参考に右針糸を上ルーパー糸と同じ糸調子皿を通して天秤にかけ、針に通します。
3. 生地を下の図のように【Z型】に折り曲げます。折り山のぎりぎりに針が落ちるように押えのガイドを動かして調整します。

【糸取物語の糸かけ図】



ダイヤル「D」

